

I. 栄養・食生活

目標項目			スタート前 (H23・24ア ンケート)	目標値 (R4年度)	28年度 実績	29年度 実績	30年度 実績	令和元年 度実績	出典
全出生数中の低出生体重児の割合の減少			9.7%	減少	9.0%	9.9%	9.8%	—	青森県保健統計年報
朝食を毎日食べる子どもの割合の増加	年長児		85.8%	100%	—	87.5%	—	—	アンケート調査
	児童・生徒		89.6%	100%	—	85.7%	—	—	
肥満傾向にある子どもの割合の減少	小学校5年生の中等度・高度 肥満傾向児の割合	男子	8.5%	減少	6.3%	6.8%	8.8%	8.4%	八戸市児童生徒の 健康と体力
		女子	5.6%	減少	5.5%	5.0%	5.5%	4.9%	
適正体重を維持している人の割合の増加 (肥満の割合者・やせの人の割合の減少)	20～60歳代男性の肥満者の割合		34.1%	28.0%	34.3%	34.0%	35.2%	35.9%	国保特定健診・ドッ ク・後期高齢者健 診・健康診査・企業 健診(健診センター)
	40～60歳代女性の肥満者の割合		24.5%	19.0%	24.5%	23.9%	24.8%	25.1%	
	20歳代女性のやせの人の割合		16.7%	16.0%	16.8%	17.1%	17.0%	15.8%	
	65歳以上の適正体重を維持している人の割合		65.6%	増加	65.2%	66.2%	66.2%	66.0%	
栄養バランス等に配慮した食生活を送っている市民の割合の増加			42.8%	60.0%	—	58.2%	—	—	アンケート調査

○各課の取組状況

※は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した取組 下線は新規取組 ()は所管課

領域別の施策	課での取組・関係団体での取組(事業名・具体的内容等)	ライフステージ					実施主体		今後取組みそうなこと
		妊娠期	乳幼児期	学齢期	成人期	高齢期	課	関係団体・所管施設	
1. 栄養・食生活 について学習する 場や相談の場を 増やします。	(1) ※魚市場見学の受け入れ			○	○		水産事務所		
	(2) 出張おさかな学習会の開催			○			水産事務所		
	(3) 特定教育・保育施設、地域型保育事業者の給食関係職員への研修会の周知		○				こども未来課		
	(4) 地域子育て支援センター、こどもはっち、子育てサロンでの育児相談		○				(こども未来課)	特定教育・保育施設等	
	(5) 総合事業 短期集中型サービス 訪問型サービス(栄養改善事業)					○	高齢福祉課		
	(6) 介護予防教室					○	(高齢福祉課)	高齢者支援センター	
	(7) <u>栄養相談(介護予防センター)</u>					○	高齢福祉課		
	(8) 市ホームページ、広報はちのへ、チラシでの情報提供					○	高齢福祉課		
	(9) 指導の実施 ※元気アップ出前健康講座、食生活改善推進員養成研修会、地区健康・栄養教室	○	○		○	○	健康づくり 推進課		
	(10) ※食生活改善推進員協議会の活動(男の料理教室・バランスの良い食事料理教室・親子食育教室・低栄養予防教室・健康フェスタ・公民館まつり等)		○	○	○	○	(健康づくり 推進課)	八戸市食生活改善推進員協議会	
	(11) 特定給食施設等への栄養管理のための資料配布		○				健康づくり 推進課		
	(12) 健康まつり内での栄養相談					○	(国保年金課)	八戸市食生活改善推進員協議会、栄養士会	
	(13) 栄養教諭・学校栄養職員の派遣依頼及び活用の推進(課) 栄養教諭・学校栄養職員を活用した授業の計画(各学校) 学校保健委員会を活用した保健活動の実施(各学校) 肥満傾向にある児童生徒の把握及び指導(課・各学校)			○			(学校教育課)	各学校	
	(14) ※公民館において栄養・食生活についての講座を実施					○	(社会教育課)	各公民館	
2. 健康的な食生活のために情報提供します。	(1) BeFMラジオ番組「八戸市からのお知らせ 農業・水産情報～豊かな食づくり～」を通じて、食に関する情報を提供	○	○	○	○	○	農業経営 振興センター		
	(2) BeFMラジオ放送を通じて、農業・水産業・市場に関する食の話題を提供	○		○	○	○	中央卸売 市場		
	(3) BeFMラジオ番組「八戸市からのお知らせ 農業・水産情報～ゆたかな食づくり～」への情報提供					○	水産事務所		
	(4) <u>介護情報コーナーでの資料展示(介護予防センター)</u>					○	高齢福祉課		
	(5) 広報はちのへ、市ホームページ、わが家の健康カレンダー等の活用	○	○	○	○	○	健康づくり 推進課		
	(6) 八戸市健康パネル展にてバランスのよい食事や減塩等について周知、「簡単レシピ」の献立提供					○	(健康づくり 推進課)	八戸市食生活改善推進員協議会	
	(7) 栄養士による訪問指導(パンフレット配布)					○	国保年金課		
	(8) 西地区給食センター食育コーナーの活用(見学等)			○			(学校教育課)	各学校	
	(9) 関係部署からのポスターや配布物を公民館へ設置					○	(社会教育課)	各公民館	

II. 身体活動・運動

目標項目			スタート前 (H23・24ア ンケート)	目標値 (R4年度)	28年度 実績	29年度 実績	30年度 実績	令和元 年度実績	出典
授業開始前や休み時間に運動の時間を設けている小学校の割合			89.4%	増加	90.7%	97.7%	97.7%	97.7%	学校教育課調査
運動習慣者の割合	40～74歳	男性	43.2%	53.2%	43.7%	42.5%	41.5%	42.0%	特定健診
		女性	34.1%	44.1%	37.8%	37.4%	36.1%	36.5%	

○各課の取組状況

※は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した取組 下線は新規取組 ()は所管課

領域別の施策	課での取組・関係団体での取組(事業名・具体的内容等)	ライフステージ					実施主体		今後取り組みそうなこと
		妊娠期	乳幼児期	学齢期	成人期	高齢期	課	関係団体・所管施設	
1. 運動や身体活動効果についての知識を普及啓発します。	スポーツ推進委員の委嘱 スポーツ推進委員とは、スポーツ基本法に基づき市町村が委嘱する非常勤職員で、スポーツ推進のための事業の実施に係る連絡調整並びに住民に対するスポーツの実技の指導その他スポーツに関する指導及び助言を行う。 市は、同委員を委嘱するとともに、各種研修機会を提供し、積極的な参加を奨励することで、その専門性の向上を図っている。			○	○	○	スポーツ振興課		引き続き、年齢を問わず楽しめるニュースポーツの普及に努めたい。
	※スポーツ・健康・ダイエットフォーラムの開催 スポーツ関係の著名人による健康・ダイエットに視点を置いたフォーラムを開催することにより、市民の健康増進と地域スポーツの振興を図っている。(市民大学講座と併催)	○		○	○	○	(スポーツ振興課)	社会教育課(共催)	毎年好評であるため、引き続き、運動や身体活動効果について造詣が深い講師を推薦する。
	(3) 介護予防教室(高齢者支援センター、介護予防センター)					○	(高齢福祉課)	高齢者支援センター	
	(4) 朝イチ体操会(介護予防センター)					○	高齢福祉課		
	(5) 介護情報コーナーでの資料展示(介護予防センター)					○	高齢福祉課		
	(6) 市ホームページ、広報はちのへ、チラシでの情報提供					○	高齢福祉課		
	(7) 乳幼児健康相談、地区健康教室、成人訪問指導の実施 ※元気アップ出前健康講座		○		○	○	健康づくり推進課		
	(8) 市政情報モニター、 <u>テレビ広報によるうみねこ体操の周知</u>		○	○	○	○	健康づくり推進課		
	(9) 広報はちのへ、市ホームページ、わが家の健康カレンダーの活用	○	○		○	○	健康づくり推進課		
	(9) 看護師による訪問指導(パンフレットの配布)				○		国保年金課		
	(10) 新体力テストの実施と結果の活用(各学校) ※新体力テストの市内の結果を「八戸市児童・生徒の健康と体力」に掲載し、各学校へ配布(課)				○		(学校教育課)	各学校	
(11) ※公民館において運動や身体活動効果についての講座を実施					○	(社会教育課)	各公民館		
2. 適切な運動の実践を支援します。	(1) 八戸市総合体育大会の開催 八戸市スポーツ協会と連携し、17の競技種目について、地区対抗の大会を実施し、地域に根ざしたスポーツの振興を図っている。				○	○	(スポーツ振興課)	八戸市スポーツ協会	
	(2) スポーツ教室の開催 指定管理の付帯業務としての指定管理者が事業を実施しており、市内の運動施設において、スポーツ教室を開催し、適切な運動の実践を支援している。				○	○	(スポーツ振興課)	指定管理者	現在実施しているものを含め、市民の多様なライフスタイルやニーズに、より対応した教室の開催を協議・検討する。
	(3) スポーツ施設の適正な維持管理 市内のスポーツ施設の適正な維持管理と利用促進に努め、市民の運動機会の拡大を図っている。 ・八戸市体育館・八戸市スポーツ研修センター・八戸市武道館・八戸市相撲場・八戸市弓道場・長根野球場・長根バイピングスケートリンク(アイスホッケー)・長根水泳プール・新井田インドアリンク・新井田多目的広場・新井田テニスコート・東体育館・東野球場・東陸上競技場・東テニスコート・屋内トレーニングセンター・南部山健康運動センター・南部山多目的広場・南郷野球場・南郷体育館・南郷屋内温水プール・南郷屋内運動場・南郷陸上競技場・南郷テニスコート・南郷相撲場・多賀多目的運動場天然芝球技場・多賀多目的運動場人工芝球技場・多賀多目的運動場多目的広場1・2(以上29施設)	○	○	○	○	○	(スポーツ振興課)	指定管理者	スポーツ施設のうち、トレーニング室は、気軽に利用できる施設であることから、更新などによる適正な維持管理をして、利用促進を図る。(R02八戸市体育館トレーニング機器更新済)
	(4) 八戸市スポーツ推進計画による生涯スポーツの推進 平成31年3月に策定した「八戸市スポーツ推進計画」の中で、「競技スポーツ」の推進による競技力向上とともに、誰でも楽しめる「生涯スポーツ」を推進することとし、市民のスポーツに対するニーズが多様化する中で、市民の誰もが生涯に渡ってスポーツに親しむことができ、健康で元気に暮らせる環境づくりに取り組むこととしている。 なお、当該計画では、「健康はちのへ21」に掲載されている「40歳～74歳の運動常習者割合」の増加を図ることを数値目標の1つとしている。	○	○	○	○	○	(スポーツ振興課)	各関係団体	八戸市スポーツ推進計画の施策I-1～I-3に従い、子どもから高齢者・障がい者といったあらゆる市民がそれぞれのライフステージ、生活モードに応じたスポーツ活動を実施できるよう、ニーズ調査や環境づくりを実施していく。
	(5) 総合事業 短期集中型サービス 通所型サービスC(運動機能向上事業)					○	(高齢福祉課)	受託事業所	
	(6) 朝イチ体操会(介護予防センター)					○	高齢福祉課		
	(7) 体力測定及び事後指導(介護予防センター)					○	高齢福祉課		
	(8) 市ホームページ、広報はちのへ、チラシでの情報提供					○	高齢福祉課		
	(9) 乳幼児健康相談、地区健康教室の実施 ※元気アップ出前健康講座(健康運動指導士による)		○		○	○	健康づくり推進課		
	(10) ウォーキング会、シニア音楽運動教室の実施				○	○	(健康づくり推進課)	健康づくり推進協議会等	
	(11) 看護師による訪問指導(体操の指導)、頻回受診者へ運動施設利用促進案内の送付					○	国保年金課		
	(12) 業間活動による体力向上の取組(休み時間等に運動をする時間の設定)				○		(学校教育課)	各学校	
	(13) ※公民館において運動の実践を交えた講座を実施					○	(社会教育課)	各公民館	

Ⅲ. こころの健康

目標項目		スタート前 (H23・24ア ンケート)	目標値 (R4年度)	28年度 実績	29年度 実績	30年度 実績	令和元 年度 実績	出典
子育てに困難を感じる人の割合の減少	股関節脱臼検診	19.7%	減少	22.4%	21.6%	20.9%	20.7%	股関節脱臼検診
	1歳6か月児健康診査	32.4%	減少	33.3%	36.6%	36.2%	35.2%	1歳6か月児健康診査
	3歳児健康診査	27.5%	減少	32.5%	28.8%	26.5%	31.1%	3歳児健康診査
いのちをはぐむアドバイザー事業の割合	中学校	100%	100%	100%	100%	100%	100%	教育指導課調査
スクールカウンセラー等に相談できる体制のある中学校の割合		100%	100%	100%	100%	100%	100%	
睡眠による休養を十分とれていない人の割合の減少		19.3%	13.5%	—	26.7%	—	—	アンケート調査
ストレスがたまっている人の割合の減少	男性	70.5%	減少	—	75.2%	—	—	
	女性	73.2%	減少	—	77.6%	—	—	
	全体	72.1%	減少	—	76.6%	—	—	
ストレス解消法を持っている人の割合の増加	男性	57.1%	増加	—	71.3%	—	—	
	女性	70.5%	増加	—	71.7%	—	—	
	全体	64.9%	増加	—	71.5%	—	—	
生きがいのある人の割合の増加	男性	56.7%	増加	—	59.0%	—	—	
	女性	57.4%	増加	—	61.3%	—	—	
	全体	56.9%	増加	—	60.3%	—	—	
認知機能低下ハイリスク高齢者の把握率の向上		0.2%	増加	17.9%	14.6%	13.3%	11.6%	高齢福祉課調査
自殺者の減少(人口10万人当たり)		27.1	減少	20.9	18.0	21.3	—	青森県保健統計年報

○各課の取組状況

※は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した取組 下線は新規取組 ()は所管課

u003c/p>

領域別の施策	課での取組・関係団体での取組(事業名・具体的内容等)	ライフステージ					実施主体		今後取り組みそうなこと
		妊娠期	乳幼児期	学齢期	成人期	高齢期	課	()	
1. 相談先の周知および環境整備に努めます。	(1) <u>介護予防相談、介護情報コーナーでの相談先のチラシの設置(介護予防センター)</u>					○	高齢福祉課		
	相談窓口の周知(広報はちのへ・わが家の健康カレンダー・市政情報モニターの活用)						健康づくり推進課		
	(2) <u>課内窓口</u> に相談窓口一覧表設置、 <u>幼児健診</u> での相談窓口一覧表配布	○	○	○	○	○	健康づくり推進課		
	(3) 健康相談・ひきこもり相談の実施、関係機関主催の健康教室・健康相談への従事(パバママ体験学習等)	○	○	○	○	○	(健康づくり推進課)	中学校 子育て支援センター	
	(4) 自殺予防キャンペーン、自殺予防講演会の実施	○	○	○	○	○	健康づくり推進課		
	自殺対策の推進(八戸市自殺対策推進本部会議・八戸市自殺対策庁内検討会議・八戸市自殺対策ネットワーク会議・ひきこもり対策ケース会議の開催、 <u>八戸市版「こころの相談窓口一覧」作成及び配布</u>)	○	○	○	○	○	健康づくり推進課		
	(6) <u>精神保健福祉相談等の相談先について市ホームページ・広報等で周知。窓口</u> にパンフレットを配置。	○			○	○	保健予防課		
	(7) 多重債務相談の実施(消費生活センター)、相談窓口の周知(広報、ラジオ)				○	○	くらし交通安全課		
	(8) スクールカウンセラーの設置				○		(教育指導課)	県	
	(9) スクールソーシャルワーカーの配置				○		教育指導課		
(10) 少年相談センター運営				○		教育指導課			
2. ストレスとうまく付き合い、生き生きと生活できるよう支援します。	(1) 在宅の一人暮らし高齢者や障がい者等の孤独感解消のため、ほのぼの交流協力員が、週1回程度の訪問や交流会を実施する。(委託事業)				○	○	(福祉政策課)	(社福)八戸市社会福祉協議会	
	マタニティ健康相談、子育て世代包括支援センター事業、産後ケア事業、産前・産後サポート事業、母子訪問指導事業、女性の健康支援センター事業、 <u>産婦健診</u> 、両親学級、乳幼児健康相談、健康相談、自殺予防キャンペーン、自殺予防講演会、地区健康教室、成人訪問指導の実施	○	○		○	○	健康づくり推進課		
	(3) 精神保健福祉相談等で必要な方々に支援。窓口にパンフレットを設置。	○			○	○	保健予防課		
3. 睡眠及び休養の重要性について普及啓発します。	(1) マタニティ健康相談、子育て世代包括支援センター事業、産後ケア事業、産前・産後サポート事業、母子訪問指導事業、女性の健康支援センター事業、 <u>産婦健診</u> 、両親学級、乳幼児健康相談、市民健康づくり講座、自殺予防キャンペーン、自殺予防講演会、地区健康教室、成人訪問指導の実施 ※元気アップ出前健康講座	○	○	○	○	○	健康づくり推進課		
4. 心の病気とその適切な対応についての普及啓発を強化します。	(1) 家族介護教室(介護予防センター)					○	高齢福祉課		
	マタニティ健康相談、子育て世代包括支援センター事業、産後ケア事業、産前・産後サポート事業、母子訪問指導事業、女性の健康支援センター事業、 <u>産婦健診</u> 、両親学級、乳幼児健康相談、市民健康づくり講座、自殺予防キャンペーン、自殺予防講演会、ひきこもりに関する講演会、健康相談、地区健康教室、成人訪問指導の実施 ※元気アップ出前健康講座	○	○	○	○	○	健康づくり推進課		
	(3) 市ホームページ・広報はちのへ・健康フェスタ等で普及啓発を実施。	○			○	○	保健予防課		

IV. 喫煙

目標項目			スタート前 (H23・24ア ンケート)	目標値 (R4年度)	28年度 実績	29年度 実績	30年度 実績	令和元年 度実績	出典
妊娠中の喫煙をなくす			5.2%	0%	3.1%	3.8%	2.7%	2.6%	妊婦連絡票
未成年者の喫煙をなくす(八戸保健所管内)	中学1年生	男子	0.4%	0%	—	—	—	0.6%	青森県がん・生活習慣病対策課
		女子	0.2%	0%	—	—	—	0.0%	
	高校3年生	男子	3.3%	0%	—	—	—	—	
		女子	1.2%	0%	—	—	—	—	
成人の喫煙率の減少									特定健診
			男性	43.1%	26.9%	39.3%	39.9%	38.6%	38.4%
			女性	12.5%	7.8%	11.7%	12.0%	11.7%	11.3%
受動喫煙対策を実施している施設の割合の増加	市施設 (※H27中間評価時)		※92.7%	増加	93.1%	95.1%	94.5%	96.9%	健康づくり推進課調査
	空気グリーン施設登録施設数		213施設	増加	373施設	443施設	504施設	552施設	三戸地方保健所
受動喫煙対策をとっている人の割合の増加			41.2%	増加	—	40.9%	—	—	アンケート調査
COPD(慢性閉塞性肺疾患)の認知度の向上			(国)	25.0%	80.0%	—	15.9%	—	アンケート調査

○各課の取組状況

※は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した取組 下線は新規取組 ()は所管課

領域別の施策	課での取組・関係団体での取組(事業名・具体的内容等)	ライフステージ					実施主体		今後取り組みそうなこと
		妊娠期	乳幼児期	学齢期	成人期	高齢期	課	関係団体・所管施設	
1. 喫煙防止に関する啓発に取り組みます。	(1) 両親学級、マタニティ健康相談、母子訪問指導の実施 広報はちのへ、市ホームページ、わが家の健康カレンダーの活用	○	○		○	○	健康づくり推進課		
2. 妊産婦や子ども、未成年のまわりではたばこを吸わないような環境づくりをします。	(1) 市民健康づくり講座、地区健康教室、成人訪問指導の実施 広報はちのへ、市ホームページ、わが家の健康カレンダーの活用	○	○	○	○	○	健康づくり推進課		
	(2) 市内全公民館において敷地内禁煙を実施	○	○	○	○	○	(社会教育課)	各公民館	
3. 市所管施設の受動喫煙防止対策と喫煙者への啓発等を通じて、受動喫煙の機会を減らす取組を推進します。	(1) 改正健康増進法の趣旨を踏まえ、社会体育施設の敷地内を全面禁煙としている。	○	○	○	○	○	スポーツ振興課		引き続き実施していく。
	(2) 敷地内禁煙を実施	○	○	○	○	○	農業経営振興センター		
	(3) 特定屋外喫煙場所を設置				○	○	中央卸売市場		
	(4) 特定屋外喫煙場所を設置				○	○	水産事務所		
	(5) 受動喫煙防止対策現状調査の実施	○	○	○	○	○	健康づくり推進課		
	(6) 市内全公民館において敷地内での禁煙を実施	○	○	○	○	○	(社会教育課)	各公民館	
4. 禁煙支援に取り組みます。	(1) 健康相談、成人訪問指導の実施 禁煙外来の紹介	○			○	○	健康づくり推進課		
5. 喫煙が及ぼす健康影響に関する知識の普及を図ります。(受動喫煙の影響、喫煙マナー)	(1) 両親学級、マタニティ健康相談、母子訪問指導、幼児健診、地区健康教室、成人訪問指導の実施 広報はちのへ、市ホームページ、わが家の健康カレンダーの活用	○	○	○	○	○	健康づくり推進課		

V. 飲酒

目標項目			スタート前 (H23・24ア ンケート)	目標値 (R4年度)	28年度 実績	29年度 実績	30年度 実績	令和元年 度実績	出典
妊娠中の飲酒をなくす			3.9%	0%	1.9%	0.8%	0.5%	0.4%	妊婦連絡票
未成年者の飲酒をなくす(八戸保健所管内)	中学3年生	男子	6.3%	0%	—	—	—	2.5%	青森県がん・生活習 慣病対策課
		女子	7.4%	0%	—	—	—	1.1%	
	高校3年生	男子	14.9%	0%	—	—	—	—	
		女子	17.0%	0%	—	—	—	—	
生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合の減少			男性	22.1%	18.8%	22.4%	20.3%	19.6%	特定健診
			女性	9.6%	8.2%	11.6%	10.4%	10.4%	

○各課の取組状況

※は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した取組 下線は新規取組 ()は所管課

領域別の施策	課での取組・関係団体での取組(事業名・具体的内容等)	ライフステージ					実施主体		今後取り組みそうなこと
		妊娠期	乳幼児期	学齢期	成人期	高齢期	課	関係団体・所管施設	
1. 未成年者の飲酒防止、妊娠中や授乳中の飲酒等に関する啓発に取り組みます。	(1) 両親学級、マタニティ健康相談、母子訪問指導の実施 市ホームページ、市政情報モニターの活用	○			○	○	健康づくり推進課		
2. 飲酒による健康への影響や適正飲酒などの情報を提供します。	(1) 市民健康づくり講座、地区健康教室、成人訪問指導の実施 市ホームページ、市政情報モニターの活用	○	○	○	○	○	健康づくり推進課		
	(2) 精神保健福祉相談等で必要な方々に情報提供。窓口にパンフレットを設置。	○			○	○	保健予防課		

VI. 歯・口腔の健康

目標項目		スタート前 (H23・24アンケート)	目標値 (R4年度)	28年度 実績	29年度 実績	30年度 実績	令和元年度 実績	出典
う歯のない者の割合の増加	1歳6か月児健康診査	96.9%	98.0%	98.0%	98.9%	97.7%	99.2%	1歳6か月児健康診査
	3歳児健康診査	68.5%	90.0%	77.3%	75.4%	76.0%	80.9%	3歳児健康診査
3歳児で不正咬合等が認められる者の割合の減少		9.2%	8.0%	7.3%	8.2%	7.7%	9.1%	3歳児健康診査
12歳児(中1)でう歯のない者の割合の増加		45.4%	65.0%	51.0%	52.6%	57.3%	57.3%	八戸市児童生徒の健康と体力
12歳児(中1)のDMF指数の減少		1.4本	1.0本未満	1.16本	1.07本	1.05本	1.02本	
中学生における歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少		16.3%	10.0%	19.6%	17.3%	15.9%	17.3%	青森県歯科疾患実態調査
40歳における進行した歯周炎を有する者の割合の減少 (県)		36.7%	25.0%	25.9%	—	—	—	
40歳の未処置歯を有する者の割合の減少 (県)		31.8%	10.0%	37.0%	—	—	—	
40歳で喪失歯のない者の割合の増加 (県)		40.9%	75.0%	55.6%	—	—	—	
60歳の未処置歯を有する者の割合の減少 (県)		12.3%	10.0%	44.8%	—	—	—	
60歳における進行した歯肉炎を有する者の割合の減少 (県)		50.0%	45.0%	27.7%	—	—	—	
60歳における咀嚼良好者の割合の増加 (国)		73.4%	80.0%	—	—	—	—	国民健康・栄養調査
60歳で24歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加		40.6%	70.0%	45.9%	48.2%	44.4%	52.5%	国保特定健診・後期高齢者健診
80歳で20歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加		28.0%	50.0%	27.5%	36.5%	37.0%	33.2%	健康づくり推進課
歯周病検診の受診率の向上		0.2%	15.0%	9.8%	11.8%	13.1%	13.2%	アンケート調査
歯や口の健康状態を定期的に病院等でチェックしている者の割合		28.4%	65.0%	—	28.1%	—	—	障がい児・者入所施設での定期的な歯科検診実施率
介護老人福祉施設・介護老人保健施設での定期的な歯科検診実施率の向上		38.0%	50.0%	47.6%	—	—	—	介護保険課調査

注)DMF指数とは、永久歯の一人平均う歯罹患状態を知るために用いられるもの。D:未治療う歯、M:う歯が原因で失った歯、F:う歯の治療した歯

○各課の取組状況

※は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した取組 下線は新規取組 ()は所管課

領域別の施策	課での取組・関係団体での取組(事業名・具体的内容等)	ライフステージ					実施主体		今後取り組みそうなこと
		妊娠期	乳幼児期	学齢期	成人期	高齢期	課	関係団体・所管施設	
1. 歯・口腔保健に関する正しい知識の普及啓発を強化します。	(1) 介護予防教室					○	(高齢福祉課)	高齢者支援センター	
	(2) 市ホームページ、広報はちのへ、チラシでの情報提供					○	高齢福祉課		
	(3) マタニティ健康相談、乳幼児健康相談、幼児健診、地区健康教室での周知 市ホームページの活用 ※元気アップ出前健康講座	○	○	○	○	○	健康づくり推進課		
2. 各年代の特性に応じた歯科疾患の予防や口腔機能の維持・向上に向けた取組を推進します。	(1) 総合事業 短期集中型サービス 通所型サービスC(口腔機能向上事業)					○	(高齢福祉課)	受託歯科医院	
	(2) 市ホームページ、広報はちのへ、チラシでの情報提供					○	高齢福祉課		
	(3) 乳幼児健康相談、幼児健診時の歯科衛生士による指導の実施 市ホームページ等の活用 ※元気アップ出前健康講座	○	○	○	○	○	健康づくり推進課		
	(4) 後期高齢者歯科口腔健診(県後期高齢者医療広域連合委託事業)					○	国保年金課		
	(5) う歯処置率向上のため働きかけ(各学校) ※口腔診査を実施し、結果を掲載した「八戸市児童・生徒の健康と体力」を各学校及び八戸歯科医師会へ配布(課) ※優良児童・生徒を表彰するよい歯のコンクールを八戸歯科医師会と共催で開催(課)				○		(学校教育課)	各学校、八戸歯科医師会	
3. 定期的な歯科検診の受診勧奨に努めます。	(1) 認可外保育施設における入所児童の健康診断費用(歯科・内科)の助成		○					こども未来課	
	(2) 障がい児・者入所施設での定期的な歯科検診				○	○	(障がい福祉課)	各指定障害児入所施設及び指定障害者支援施設	障がい児・者入所施設での定期的な歯科検診
	(3) 40・50・60・70歳の方の歯周病検診の実施				○	○	(健康づくり推進課)	八戸歯科医師会	
	(4) 歯周病検診料自己負担の免除				○	○	(健康づくり推進課)	八戸歯科医師会	
	(5) 妊婦歯科健診の実施	○					(健康づくり推進課)	八戸歯科医師会	
	(6) 歯周病検診受診勧奨の実施(各種保健事業での受診勧奨・保健推進員による受診勧奨) 市ホームページ、わが家の健康カレンダーの活用	○			○	○	健康づくり推進課		

Ⅶ. がん

目標項目		スタート前 (H23・24ア ンケート)	目標値 (R4年度)	28年度 実績	29年度 実績	30年度 実績	令和元 年度実績	出典
がん標準化死亡比の低下	男性	111.4	100以下	109.7	111.4	—	—	青森県保健統計年報
	女性	103.2	100以下	106.0	106.8	—	—	
がん検診受診率の向上	胃がん	26.6%	50.0%	37.9%	37.1%	37.6%	36.6%	がん検診 健康づくり推進課 健診センター
	肺がん	30.6%	50.0%	32.7%	32.9%	34.7%	32.8%	
	大腸がん	31.4%	50.0%	32.9%	33.6%	35.3%	33.3%	
	前立腺がん	29.9%	50.0%	35.5%	36.4%	39.0%	35.9%	
	乳がん	20.2%	50.0%	29.8%	28.1%	28.6%	29.0%	
子宮がん	22.5%	50.0%	35.4%	35.7%	37.7%	36.7%		
がん検診精密検査受診率の向上	胃がん	71.7%	100%	83.5%	83.1%	84.1%	—	
	肺がん	89.2%	100%	93.4%	86.2%	92.0%	—	
	大腸がん	62.0%	100%	76.4%	77.4%	77.8%	—	
	前立腺がん	54.7%	100%	79.1%	60.8%	84.8%	—	
	乳がん	87.8%	100%	96.1%	95.2%	99.0%	—	
子宮がん	85.7%	100%	88.2%	83.8%	92.9%	—		
乳がん自己検診実施率の増加		63.3%	80.0%	48.4%	62.9%	62.0%	60.6%	

注)標準化死亡比とは、全国平均を100とし、100以上は全国平均より高いことを表す数値

○各課の取組状況

※は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した取組 下線は新規取組 ()は所管課

領域別の施策	課での取組・関係団体での取組(事業名・具体的内容等)	ライフステージ					実施主体		今後取り組みそうなこと
		妊娠期	乳幼児期	学齢期	成人期	高齢期	課	関係団体・所管施設	
1. がん予防について正しい知識と生活習慣の普及啓発を強化します。	(1) 介護予防相談での指導(介護予防センター)					○	高齢福祉課		
	幼児健診でパンフレット配布、市民健康づくり講座、地区健康教室、成人訪問指導の実施 (2) 市ホームページ、わが家の健康カレンダー、市政情報モニターの活用 ※元気アップ出前健康講座				○	○	健康づくり推進課		
2. がん検診受診率向上に努めます。	(1) 介護予防相談での指導(介護予防センター)					○	高齢福祉課		
	保健推進員による受診勧奨 市ホームページ、わが家の健康カレンダーの活用 (2) 無料クーポン券の発行(婦人がん) 日曜日の婦人がん検診の実施(9月・1月・3月)				○	○	健康づくり推進課		
3. 精密検査の重要性を伝え、精密検査受診率向上に努めます。	成人訪問指導や電話、文書による個別受診勧奨 (1) 地区健康教室・健康相談の実施 市ホームページ、わが家の健康カレンダーの活用				○	○	健康づくり推進課		
4. 乳がん自己検診を普及啓発し、実施率の向上に努めます。	(1) 乳幼児健康相談、成人訪問指導、地区健康教室の実施 幼児健診でパンフレット配布				○	○	健康づくり推進課		
5. 治療継続の必要性を周知します。	(1) 成人訪問指導の実施、地区健康教室・健康相談 市ホームページの活用				○	○	健康づくり推進課		
6. がんに関する専門的な相談窓口を周知します。	(1) 成人訪問指導の実施、地区健康教室				○	○	健康づくり推進課		

Ⅷ. 循環器疾患(脳血管疾患・心疾患)

目標項目		スタート前 (H23・24ア ンケート)	目標値 (R4年度)	28年度 実績	29年度 実績	30年度 実績	令和元 年度実績	出典	
脳血管疾患の標準化死亡比の低下	男性	136.2	100以下	141.8	146.8	—	—	青森県健康福祉部 保健統計年報	
	女性	132.2	100以下	139.6	143.2	—	—		
心疾患標準化死亡比の低下	男性	99.9	低下	99.6	104.0	—	—		
	女性	93.3	低下	100.9	109.0	—	—		
特定健康診査受診率の向上		29.9%	60.0%	32.0%	31.1%	32.3%	31.5%	国保特定健診 健康づくり推進課 健診センター	
特定保健指導を受けた人の割合の増加		30.8%	60.0%	35.5%	35.3%	40.1%	36.8%		
メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合の減少	男性	35.8%	30.2%	34.5%	35.4%	35.7%	37.9%		
	女性	13.6%	12.2%	12.0%	12.0%	11.8%	11.1%		
	全体	22.9%	19.5%	21.6%	21.9%	22.0%	22.4%		
正常血圧者の割合の増加	男性	50.3%	増加	55.3%	53.5%	53.8%	52.8%		
	女性	60.2%	増加	65.7%	65.7%	66.2%	65.8%		
	全体	56.0%	増加	61.2%	60.5%	60.8%	60.3%		
血圧精密検査受診率の向上		49.7%	増加	41.8%	36.4%	51.2%	50.5%		
脂質異常症の減少	LDL(悪玉)コレステロール160mg/dl以上の人の割合	男性	6.8%	6.1%	7.5%	7.7%	8.6%		8.0%
		女性	8.8%	7.9%	11.0%	11.6%	12.3%		11.6%
	HDL(善玉)コレステロール40mg/dl以下の人の割合	男性	12.7%	11.4%	8.3%	6.9%	6.8%		5.7%
		女性	3.7%	3.3%	1.9%	1.4%	1.0%		0.8%
脂質異常精密検査受診率の向上	LDLコレステロール		51.8%	増加	41.6%	40.4%	48.9%	42.5%	
	HDLコレステロール		48.2%	増加	46.2%	48.5%	60.8%	58.8%	
	中性脂肪		40.6%	増加	30.8%	28.1%	36.5%	33.3%	

注)標準化死亡比とは、全国平均を100とし、100以上は全国平均より高いことを表す数値

○各課の取組状況

※は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した取組 下線は新規取組 ()は所管課

領域別の施策	課での取組・関係団体での取組(事業名・具体的内容等)	ライフステージ					実施主体		今後取り組みそうなこと
		妊娠期	乳幼児期	学齢期	成人期	高齢期	課	関係団体・所管施設	
1. 循環器疾患の予防や治療について正しい知識と生活習慣の普及啓発を強化します。	(1) <u>介護予防相談での指導(介護予防センター)</u>					○	高齢福祉課		
	(2) 市民健康づくり講座、地区健康教室、成人訪問指導の実施 市ホームページ、市政情報モニターの活用 ※元気アップ出前健康講座					○	健康づくり推進課		
	(3) 看護師・栄養士による訪問指導(パンフレットの配布)					○	国保年金課		
2. 特定健康診査の受診率向上に努めます。	成人訪問指導、地区健康教室の実施 (1) 保健推進員による受診勧奨(おすすめ資料集の活用等) 市ホームページ、わが家の健康カレンダーの活用					○	健康づくり推進課		
	(2) 健診未受診者に電話・はがき勧奨、保険証郵送時に同封する国保だよりに記事を掲載し、国保全世帯に配布、広報はちのへに特集記事を掲載、 <u>広報統計課設置のデジタルサイネージに休日健診情報の掲載</u> 、イベント時にPRティッシュを配布、元気応援!お得一ポン事業の実施					○	国保年金課		
3. 特定保健指導を受ける人の割合の増加に努めます。	(1) 成人訪問指導、地区健康教室の実施 市ホームページ、わが家の健康カレンダーの活用					○	健康づくり推進課		
	(2) パンフレットを保険証郵送時に同封して全世帯に配布					○	国保年金課		
4. 精密検査の重要性を伝え、精密検査受診率向上に努めます。	文書による受診勧奨 (1) 成人訪問指導、地区健康教室の実施 市ホームページの活用					○	健康づくり推進課		
	(2) 看護師による訪問指導(パンフレットの配布)					○	国保年金課		
5. 治療継続の必要性を周知します。	(1) <u>介護予防相談での指導(介護予防センター)</u>					○	高齢福祉課		
	成人訪問指導、地区健康教室・健康相談の実施 (2) 市ホームページの活用 ※元気アップ出前健康講座					○	健康づくり推進課		
	(3) 看護師・栄養士による訪問指導(パンフレットの配布)					○	国保年金課		

IX. 糖尿病

目標項目		スタート前 (H23・24アンケート)	目標値 (R4年度)	28年度 実績	29年度 実績	30年度 実績	令和元 年度実績	出典
糖尿病標準化死亡比の低下	男性	158.7	100以下	161.1	—	—	—	青森県保健統計年報
	女性	160.4	100以下	165.5	—	—	—	
血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の割合の減少(HbA1cがJDS値8.0%(NGSP値8.4%)以上の者の割合の減少)	男性	2.5%	2.1%	1.6%	1.2%	1.1%	1.3%	特定健診 健康づくり推進課 健診センター
	女性	1.2%	1.0%	0.8%	0.6%	0.6%	0.6%	
	全体	1.7%	1.4%	1.2%	0.9%	0.8%	0.9%	
糖尿病検査(HbA1c)精密検査受診率の向上		54.4%	増加	54.9%	48.5%	57.9%	60.5%	
糖尿病腎症による年間新規透析導入患者の減少	国保加入者	46人	19人	22人	25人	12人	21人	国保年金課

注)標準化死亡比とは、全国平均を100とし、100以上は全国平均より高いことを表す数値

○各課の取組状況

※は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した取組 下線は新規取組 ()は所管課

領域別の施策	課での取組・関係団体での取組(事業名・具体的内容等)	ライフステージ					実施主体		今後取り組みそうなこと
		妊娠期	乳幼児期	学齢期	成人期	高齢期	課	関係団体・所管施設	
1. 糖尿病の予防及び合併症についての正しい知識と生活習慣の普及啓発を強化します。	(1) <u>介護予防相談での指導(介護予防センター)</u>					○	高齢福祉課		
	(2) 市民健康づくり講座、地区健康教室、成人訪問指導の実施 広報はちのへ、市ホームページ、わが家の健康カレンダー、市政情報モニターの活用 ※元気アップ出前健康講座				○	○	健康づくり推進課		
	(3) ※各地区で栄養教室の実施				○	○	(健康づくり推進課) 八戸市食生活改善推進員協議会		
	(4) 看護師・栄養士による訪問指導(パンフレットの配布)				○		国保年金課		
2. 特定健康診査の受診率向上に努めます。	(1) 地区健康教室、八戸市健康パネル展、成人訪問指導の実施 保健推進員による受診勧奨(おすすめ資料集の活用等) 市ホームページ、わが家の健康カレンダーの活用				○	○	健康づくり推進課		
	(2) 健診未受診者に電話・はがき勧奨、保険証郵送時に同封する国保だよりに記事を掲載し、全世帯に配布、広報はちのへに特集記事を掲載、広報統計課設置のデジタルサイネージに休日健診情報の掲載、イベント時にPRティッシュを配布、元気応援！お得一ポン事業の実施				○	○	国保年金課		
3. 精密検査の重要性を伝え、精密検査受診率向上に努めます。	(1) 文書による受診勧奨 成人訪問指導、地区健康教室の実施 広報はちのへ、市ホームページの活用				○	○	健康づくり推進課		
	(2) 看護師による訪問指導(パンフレットの配布)				○		国保年金課		
4. 継続治療を勧め、合併症予防に努めます。	(1) <u>介護予防相談での指導(介護予防センター)</u>					○	高齢福祉課		
	(2) 成人訪問指導、地区健康教室・健康相談の実施 広報はちのへ、市ホームページの活用 ※元気アップ出前健康講座				○	○	健康づくり推進課		
	(3) 看護師・栄養士による訪問指導(パンフレットの配布) 糖尿病重症化予防				○		国保年金課		

「第2次健康はちのへ21」の計画期間について

1. 計画期間の延長について

現行の当市の健康増進計画「第2次健康はちのへ21」は、計画期間を平成25年度から令和4年度までとしている。

一方、国の健康増進計画「健康日本21（第二次）」の計画期間も平成25年度から令和4年度であるが、計画の最終評価に用いるための指標の一部が、新型コロナウイルス感染症の影響で把握できなくなったことから、計画期間の延長について対応が検討されているところである。

また、青森県の健康増進計画「健康あおもり21(第2次)」は、当初平成25年度から10年間としていた計画期間を、青森県基本計画や医療・保健・福祉分野に係る他の主要計画と整合性を図るため1年延長し、令和5年度までとしている。

そこで、国及び県の計画との整合性を図るため、当市の次期計画を県計画の公表後に策定することとし、現計画期間を2年間延長し令和6年度までとしたい。

なお、今後、県が計画期間を延長する場合は、当市もそれに伴い延長することとしたい。

計画の名称 / 年度	策定時期	~2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	
		~H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
健康あおもり21(第2次)	平成25年3月	平成25年度~令和4年度 → ~令和5年度					次期計画			
		平成28年度 延長決定								
第2次健康はちのへ21	平成25年7月	平成25年度~令和4年度					令和6年度まで延長			次期計画
〈作業〉					計画見直し		アンケート調査・評価 (調査は外部委託)	次期計画策定		

2. 計画期間延長に伴う計画見直しについて

2年間の計画期間延長に当たっては、令和3年度に中間評価に準じた評価を行い、新たな目標値の設定や目標項目の加除について検討する。

その際、中間評価時に実施しているアンケート調査は行わず、目標値に対する達成状況を、A~Eの5段階評価（下表）で計画開始時の値と比較し、実績の動向を踏まえ評価する。

A	目標値に達した
B	目標値に達していないが、改善傾向にある
C	変わらない
D	悪化している
E	把握方法・対象者等が異なるため評価が困難